



かごしまの地域を元気に! /

共生・協働の地域社会づくり

奄美市

NPO法人 ASA 奄美スポーツアカデミー

離島の「地の利」を生かせ!



運動会前のかけっこ教室。約300人が参加。

離島では、スポーツに関わる環境で多くの不利な条件がある。県大会や遠征などに経済的理由で参加できなかったり、大会に参加しても、長い船旅をして試合に臨むため、負けたときの原因を「離島のハンディ」という言葉で片付けられる。

NPO法人ASA奄美スポーツアカデミーの園田明理事長は、本土から遠距離にあるという地理的ハンディの克服ができないかと考え、沖縄県と鹿児島県本土の中間に位置する奄美の地の利を生かすという逆転の発想から、奄美で両県の小・中・高校を対象としたバスケットボール大会を開催した。

今年で8回目を迎える大会には毎年約600人の参加があり、奄美の子どもたちの技術力向上はもちろん、地域の活性化にもつながっている。

同法人の運営の柱は、奄美市名瀬運動公園や奄美体験交流館などの奄美市からの指定管理運営業務。これらの施設を活用し、奄美のスポーツ文化振興のための活動を行っている。

今年4月からは、文部科学省が推進する総合型地域スポーツクラブ「ASAコミュニティクラブ」を開始。卓球やバドミントンなど全22教室を地域の体育協会や既存の団体の協力を得て運営しており、選手の競技力向上のほか、子ども

たちや高齢者、地域住民がスポーツを通じて触れ合う場として期待されている。

また、障がい者の積極的な社会参加のきっかけにしようと、障がい者団体「ライブ・ライフ・夢創花」と連携して、「スマイルライフ」も開催している。障がい者と健常者が同じ立場や目線でスポーツを楽しみ、健常者にも今まで気づかなかった新たなことを感じ取ってほしいとの思いも込められている。

奄美市NPO法人連絡協議会の取りまとめ役でもある園田理事長は、「会議では、自分の声で意見を言える場づくりに努めています。相互理解のもとで、よりよく連携・協力をしながら地域の課題や問題を解決していきたい」と地域全体の連携にも努めている。



沖縄県と鹿児島県のバスケットボール大会

理事長からひとこと

私たちが島々をこよなく愛し、奄美の人間としての誇りと自信を持つための環境が子供たちにはもっと必要ではないでしょうか。これからの奄美、島々を担う子供たちが、奄美を誇りに思える島づくり。個々の能力を最大限に発揮し経験を肥やしに成長する子供たちには、「今、この瞬間」しかないのです。



園田明 理事長



「スマイルライフ」車椅子バスケットボールの様子

共生・協働の地域社会づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階)

☎099-286-2241

◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) ☎099-221-6613

関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。